

9月号に初掲載した予想フォルム。36ページの確定資料をご覧いただければ、その信ぴょう性がわかるだろう。軽快な印象が人気を博しそうだ。



Photo. EDITORIAL NETWORK

高品質プレミアムHBとして1月24日デビュー!

カローラ・ランクス/アレックス

005

2

月とウワサされていたカローラベースの5ドアHB「ランクス/アレックス」の正式デビュー日が、締め切り直前になって1月24日であることが判明した。ここでは2月のコナーに掲載しているが、あらかじめご了承ください。

ランクス/アレックスの特徴はカローラセダンよりも1900短い全長でありながら、ワゴンのフィールに劣らない実用性を備えている点だ。そのため、狭い路地でも取り回しに苦労することなく、かつレジャーシーンでも十分に活躍してくれるはず。

軽

乗用車すべてを一挙にリフレッシュしたダイハツが残しているのはアトレーの改良だ。途中、カスタマイズしたビレットモデルを加えるなど、変則的な動きがあったため、ライフサイクルにも変動が生じるかも。

スクープ班が捕らえたテストカーは一見、現行モデルと何ら変わりがなく、リアコンビランプ内側に擬装が施されていた。考えられ

搭載エンジンはファミリユーにマッチした1NZ-FE型1.5直4と、スポーティな走りも存分に味わえる2ZZ-GE型1.8直4の2タイプだ。既報のとおり、取扱販売チャネルはランクスがカローラ店、アレックスがネット店で、フロントグリルやドアハンドルのカラーリングで差別化が図られる。シビックやファミリアSワゴンを意識した商品性と価格を掲げ、年明けに登場するのが待ち遠しいね。なお、さらなる詳細を36ページで紹介している。

るのは、アトレー7と同じく、ガーニッシュを装着してワイド感を演出し、商用モデルのハイゼットと差別化を図ることか。また、現在はディーラーオプションとして設定されているリアビューカメラが、新たにメーカーオプション品に加わる可能性あり。

一方、ハイゼットには東京モーターショーで提案された車高調整機構やオートスライドドアが追加されるかも。車高調整機構によって車高が60ダウンスれば、荷物の積載がいちだんとラクに行えるだろう。一方、オートクローザー機構も備えたオートスライドドアは、ドアハンドルを操作するだけでドアが全開閉するため、年配ユーザーにとっては魅力的なアイテムと言える。市販モデルへの採用なるか?

アトレー

006

改良

Photo. EDITORIAL NETWORK

007



インスパイア/セイバー改良

FMCが北米産になってから2年4か月を迎えるインスパイア/セイバーに、どうやらMCが施されるようだ。詳しい内容が判明していないため、その規模も不明だが、場合によってはフロントグリルなどの細部が改められるかも。「01.5年モデル」と呼ばれる新型車は2月末にラインオフするため、国内への上陸は3月以降になる可能性が高い。